

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名:和歌山県 県土整備部

道路局 道路建設課

事業の名称:都市計画道路 元町新庄線外1線

沿道区画整理型街路整備事業

実施都市名:和歌山県 田辺市

事業目的

元町新庄線は、田辺市中心部を東西に横断する延長5.3kmの都市計画道路で、本路線で唯一の一方通行規制区間を解消することで、JR紀伊田辺駅へのアクセス向上を図ります。

また、従来の街並みを存続させるため、地元住民の意向を反映した沿道区画整理型街路事業とすることで、“ここに住み続けたい”という従来のコミュニティを存続させるとともに、交流人口の増加による中心市街地の活性化を図ります。

さらに、無電柱化を行うことにより、防災性の向上にも寄与します。

事業概要

事業名称:都市計画道路元町新庄線外1線

沿道区画整理型街路事業

路線名:元町新庄線

事業箇所:和歌山県田辺市南新町～湊

事業延長:0.3km

幅員:18.0m(2車線)

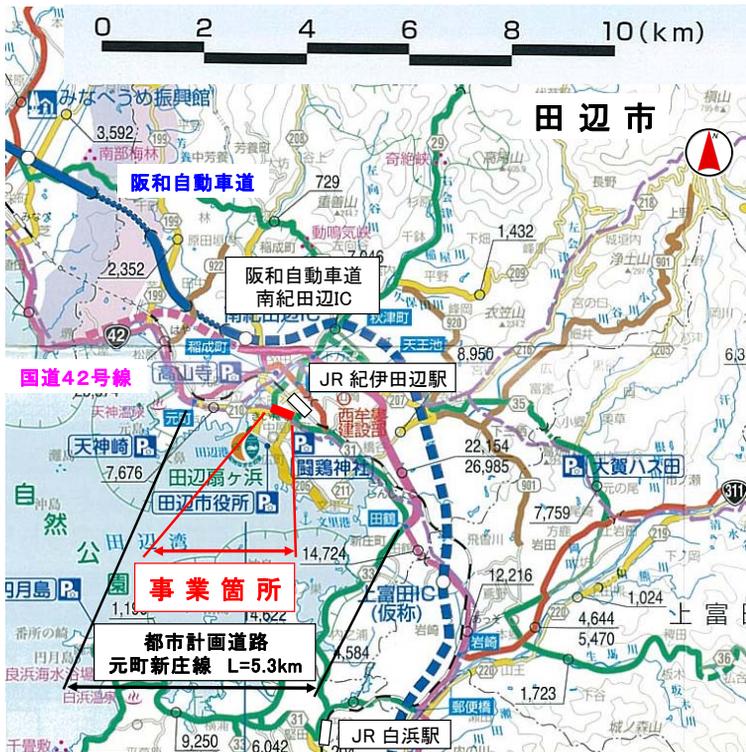
事業費:約43億円

事業実施期間:平成15年～平成21年

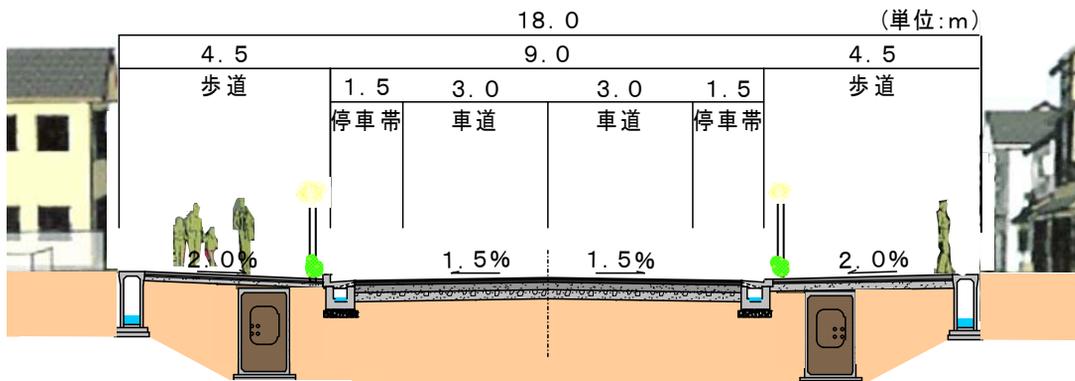
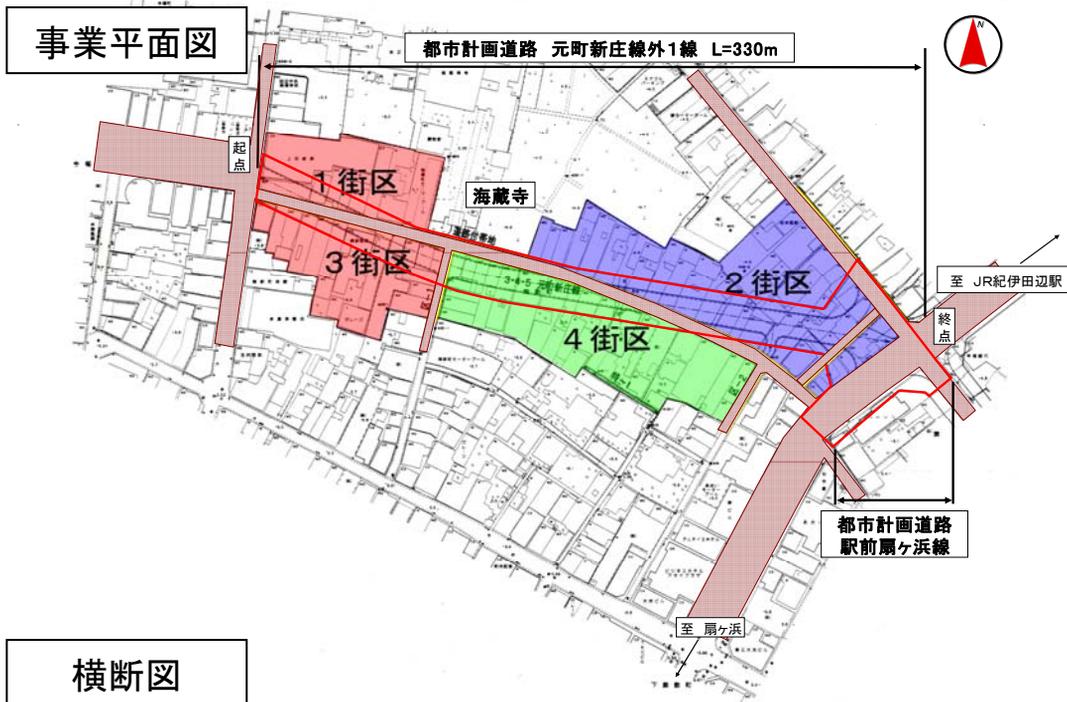
この地域は、海蔵寺の門前町として、住まいと商売が共存して栄えてきた街で、地域住民がこの歴史と伝統を存続させたいと願っていました。このため、平成11年から地元住民と話し合いを重ね、海蔵寺を中心とした街並みの保存及び、商売のための沿道利用が円滑にできる沿道区画整理型街路事業として整備を行いました。

また、地元住民が街づくりのテーマを“住商共存の和風のまち”と決め、「海蔵寺通りまちづくり憲章」を策定し、これらを具現化するため、電線共同溝など景観に配慮した整備を行うと共に、住民自ら「街並みデザインガイドライン」を定め、街路灯やベンチなどの工作物を設置するなど、官民一体となったパートナーシップのもとに整備を行いました。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断図)



元町新庄線の整備効果アピール資料

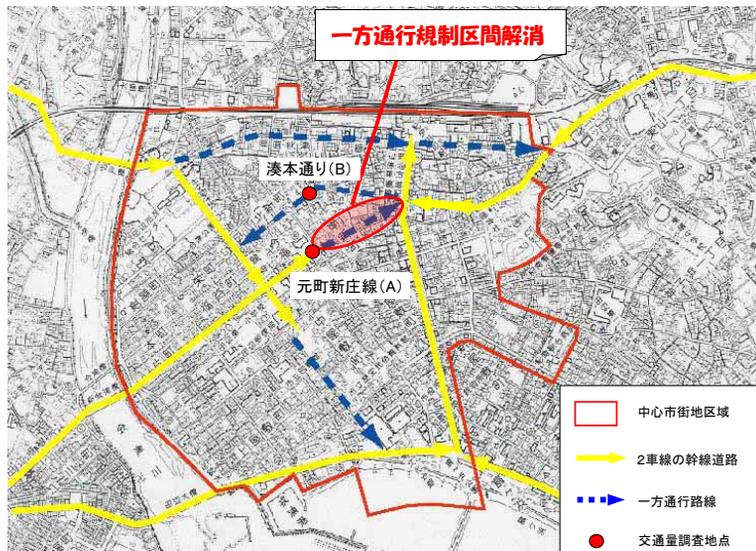
○事業概要

事業名:都市計画道路元町新庄線外1線
沿道区画整理型街路事業
路線名:元町新庄線
事業箇所:和歌山県田辺市南新町～湊
事業延長:0.3km
幅員:18.0m(2車線)
総事業費:約43億円
事業期間:平成15年～平成21年

○整備効果

- ◇ 一方通行規制区間の解除により、田辺市中心市街地の東西幹線道路が完成。紀伊田辺駅へのアクセスも向上。
- ◇ 周辺商店街(湊本通り)内の通過交通の減少に伴い、安心して買い物ができる。
(安心安全なまちづくり・中心市街地の活性化)
- ◇ 地元住民が「海蔵寺通りまちづくり憲章」を策定し、都市景観が向上。
 - ・連続した統一感のある和風の街並みを形成
 - ・住民は、建物を和風建築にするだけでなく、街路灯やベンチを設置
 - ・街路事業者は電線共同溝を施工
- ◇ 中心市街地の活性化を図るための官民一体となった気運が高揚。

田辺市中心市街地地図

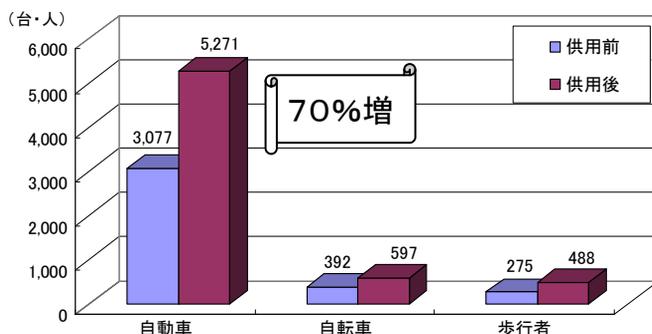


○交通量調査結果(平日)

元町新庄線(A)

供用前(H21.11) 実測 3,077 台/8h
供用後(H22.4) 実測 5,271 台/8h

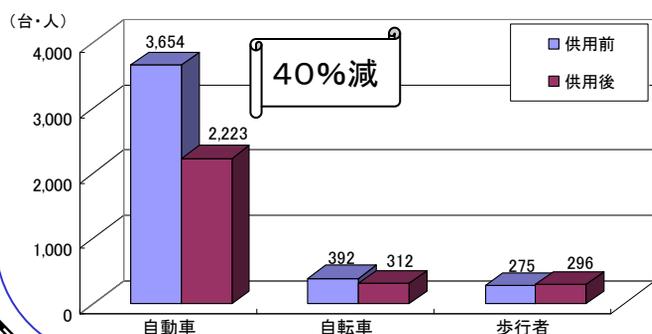
・交通量の推移



湊本通り(B)

供用前(H21.11) 実測 3,654 台/8h
供用後(H22.4) 実測 2,223 台/8h

・交通量の推移



事業前写真

平成15年10月撮影(起点側より)



平成15年10月撮影(海蔵寺前)



平成15年10月撮影(終点側より)



事業後写真

平成23年1月撮影(終点側)



平成23年1月撮影(海蔵寺前)



平成23年1月撮影(起点側より全景)

